

積されてきている。他方で、図書館司書の側もレファレンス業務を効率化し、情報を共有し、サービスを向上させるための工夫を凝らしている。各種の参考図書やデータベース、電子ジャーナルなどを利用したレファレンスについてもノウハウを蓄積してきている。しかし、上述の知人の反応にもあるように、全体的に研究者の中では図書館のレファレンスサービスに対する認識は高くはなく、図書館側のレファレンスサービスに関する周知も十分とは言えない可能性もある。それゆえ、研究者の持つノウハウが図書館司書に提供されることは少なく、その逆もまた然りである。もし、双方の経験が共有できるような関係を構築できれば、それぞれの資料探索をより効率的に進めることができるのではないだろうか。

レファレンスサービスの周知という点に関連していうならば、中央図書館4Fレファレンスカウンターでは特徴的なレファレンス事例について調査の流れや提供した資料について記録して残し、その一部を国立国会図書館（NDL）のレファレンス協同データベースに登録している。公開中の事例に対する一般からのアクセス数も15,000件を超え（2006年9月23日現在）、その意義は小さくないであろう。そして、個々の事例を少しずつ蓄積していくことで、量を質に転化させることができ、図書館利用者の信頼を獲得することができるのではないかと考えている。

（参考文献）

長沢雅男 『レファレンスサービス 図書館における情報サービス』（1995年 丸善）

“データベース体験講座”ができるまで

閲覧係 加藤 習子

近畿大学中央図書館では、年に2回、春と秋にデータベース体験講座を開催しています。今年度の春に開催した講座は、「図書・雑誌の探し方」「雑誌論文の探し方」「新聞記事の探し方」「法律関係情報(初級)(中級)」の4本立てで、各2～5回ずつ行いました。このデータベース体験講座を開催するまでには長い道のりがあります。

「図書館ツアー」や「データベース体験講座」などの計画、開催を中心となり行なっている利用者教育ワーキンググループなるものがあります。今年度、私はこの利用者教育ワーキンググループに参加させていただきました。図書館経験も浅く、あまり自信がないのですが、“利用者のためには何ができるのか”ということに常に考え仕事をしているので、少しでも利用者に満足していただけるものになればと思っています。ワーキンググループ担当で何度も集まり、今年度のデータベース体験講座の方針、講座の内容、広報、資料作成等を話し合います。日程も図書館側の都合ではなく、学生の方が利用しやすい日、時間を皆でカレンダーとにらめっこしながら決定します。昨年度と大きく違う点は、以前は「データベース講習会」という名称でしたが、データベースの使い方を説明する講座内容よりも利用者データベースを実際に使って体験してもらうという目的を強調するため、「データベース体験講座」と変更しました。また、事前申し込み制をやめ、「体験講座ウィーク」と銘打って月曜日から土曜日まで連続で開催し、空いている時間に気軽に参加できるようにしました。このように、いろいろと細かいところまで話し合っただけで骨組みが出来上がっていきます。

さらに、4つのデータベース体験講座につ

いて、利用者教育ワーキンググループ内で各講座の担当者を決め、今度はその担当者間で各講座の進め方、配布資料の作成、チェック、体験講座を実際に担当する人への勉強会などを行います。私は法律を担当しましたが、図書館に勤めるまで法律を学んだことがないので、内容の吟味をするのに法律の入門書を読んだり、法律用語を調べたりと悪戦苦闘の日々でした。今回からの新しい試みとして、説明資料に新聞記事を用いました。最近話題の新聞記事からデータベースの検索語になるキーワードを見つけ、それを使って実際に検索をします。身近な新聞記事を使うことによってより実践的になり、データベースが日々の研究や勉学に用いるきっかけになればと思います。

近畿大学の学内で利用できるデータベースは上記にあげたものだけでなく、経済・経営系、自然科学系のものまで多岐に渡ります。私たちの図書館での仕事もこのデータベースを活用しています。データベースが無かったら・・・と思うとぞっとするくらいで、大量の情報がつまっており、操作方法も慣れればとても簡単なものが多いです。データベースが使えると研究や勉学にもっと幅が出てくると思います。その思いから、データベース体験講座も新聞記事や法律系だけでなく、経済・経営系や自然科学系のデータベース体験講座も今後開催していきたいと考えています。また、就職活動のための情報収集には「日経テレコン21」というスグレモノのデータベースがあります。所在地、財務状況などの企業情報が簡単に調べられます。そろそろ就職活動を始めようかという3年生、就職活動真っ只中の4年生、ぜひ使ってみてください。

利用者教育ワーキンググループを通して私自身知識も増え、図書館員として少し自信もつきました。このように長い道のりで講習会は開催されている訳ですが、参加者あつての講習会ですので、みなさん一度足を運んでみてください。